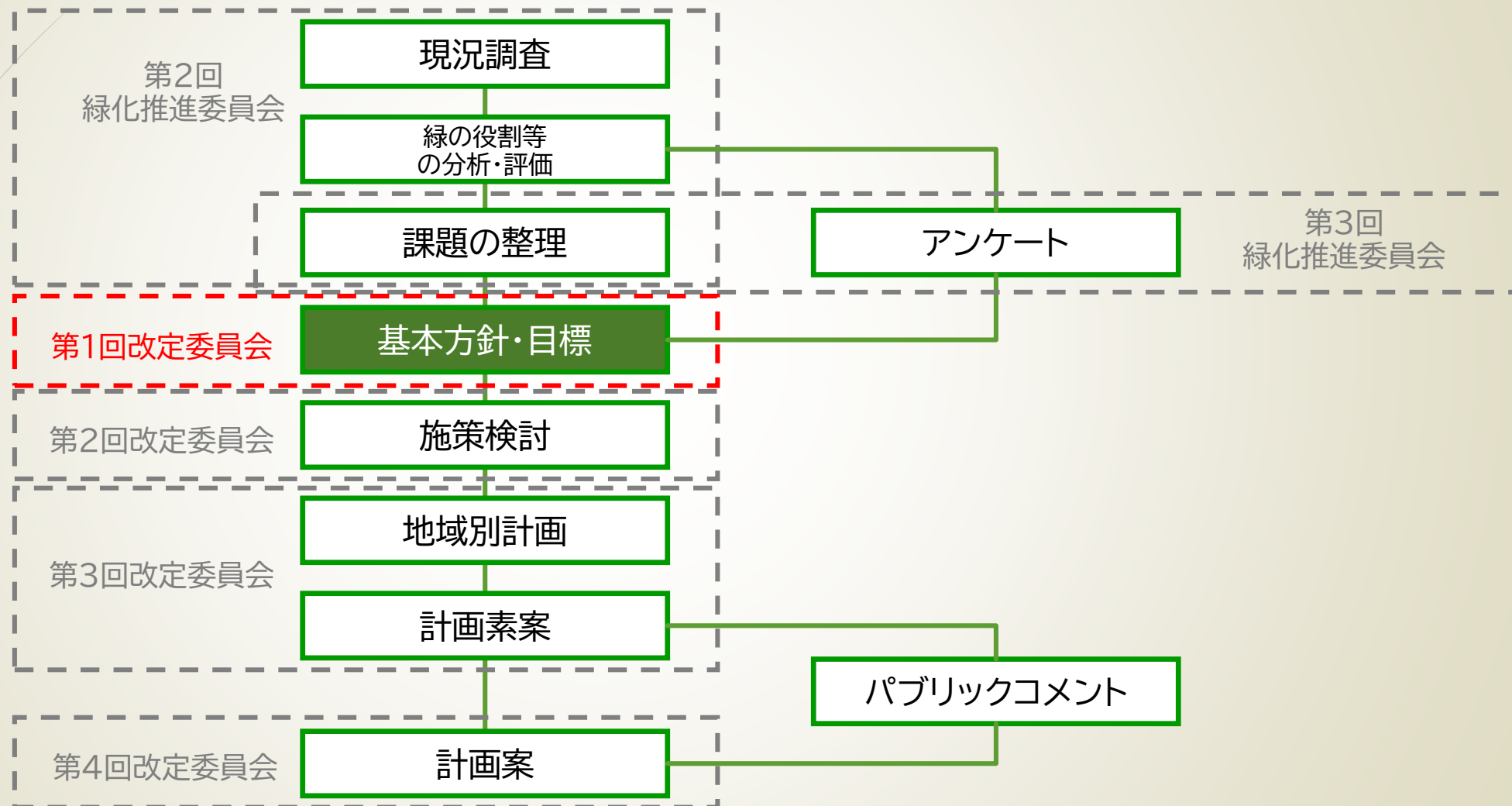
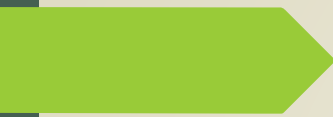


第1回船橋市緑の基本計画改定委員会

令和7年8月21日

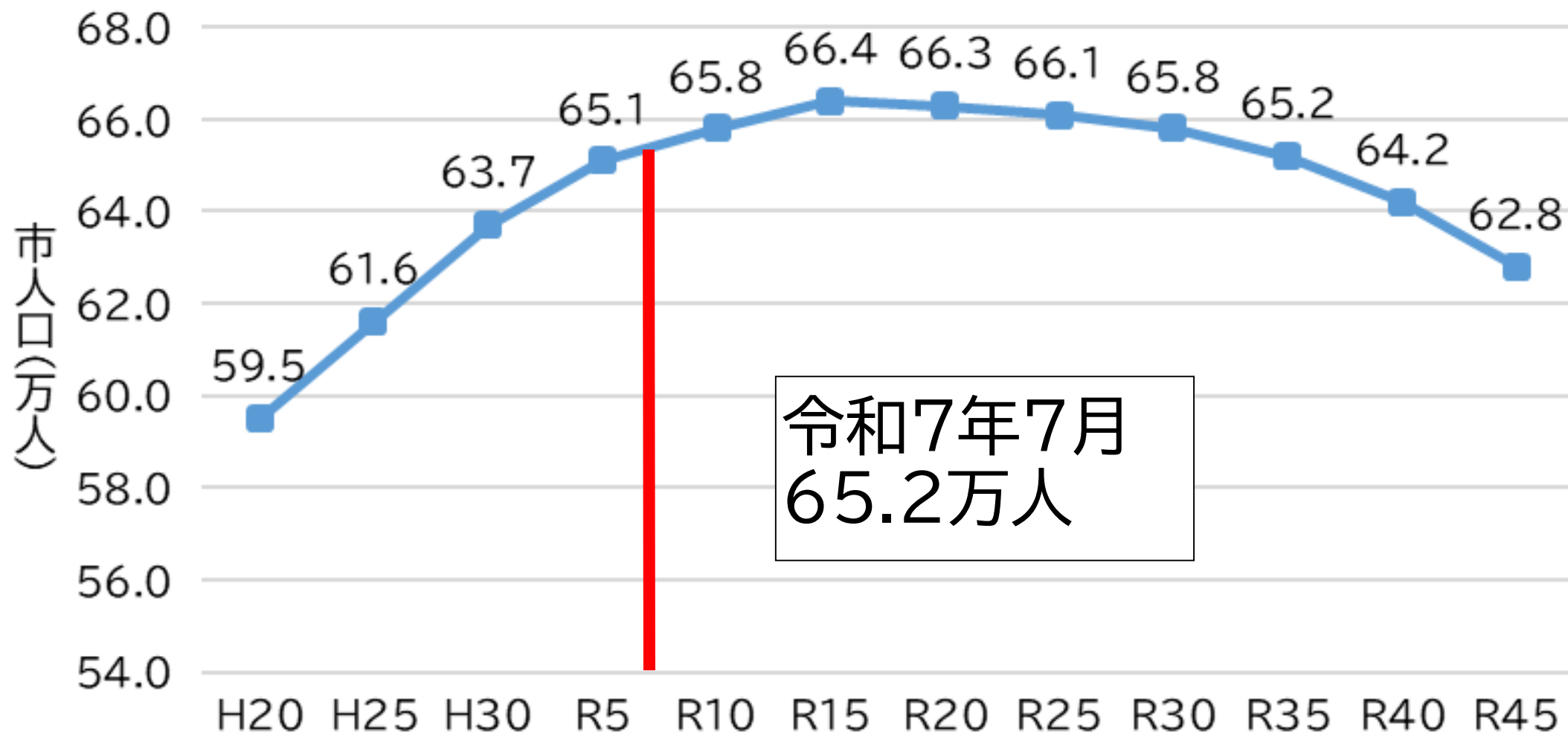
検討の流れ



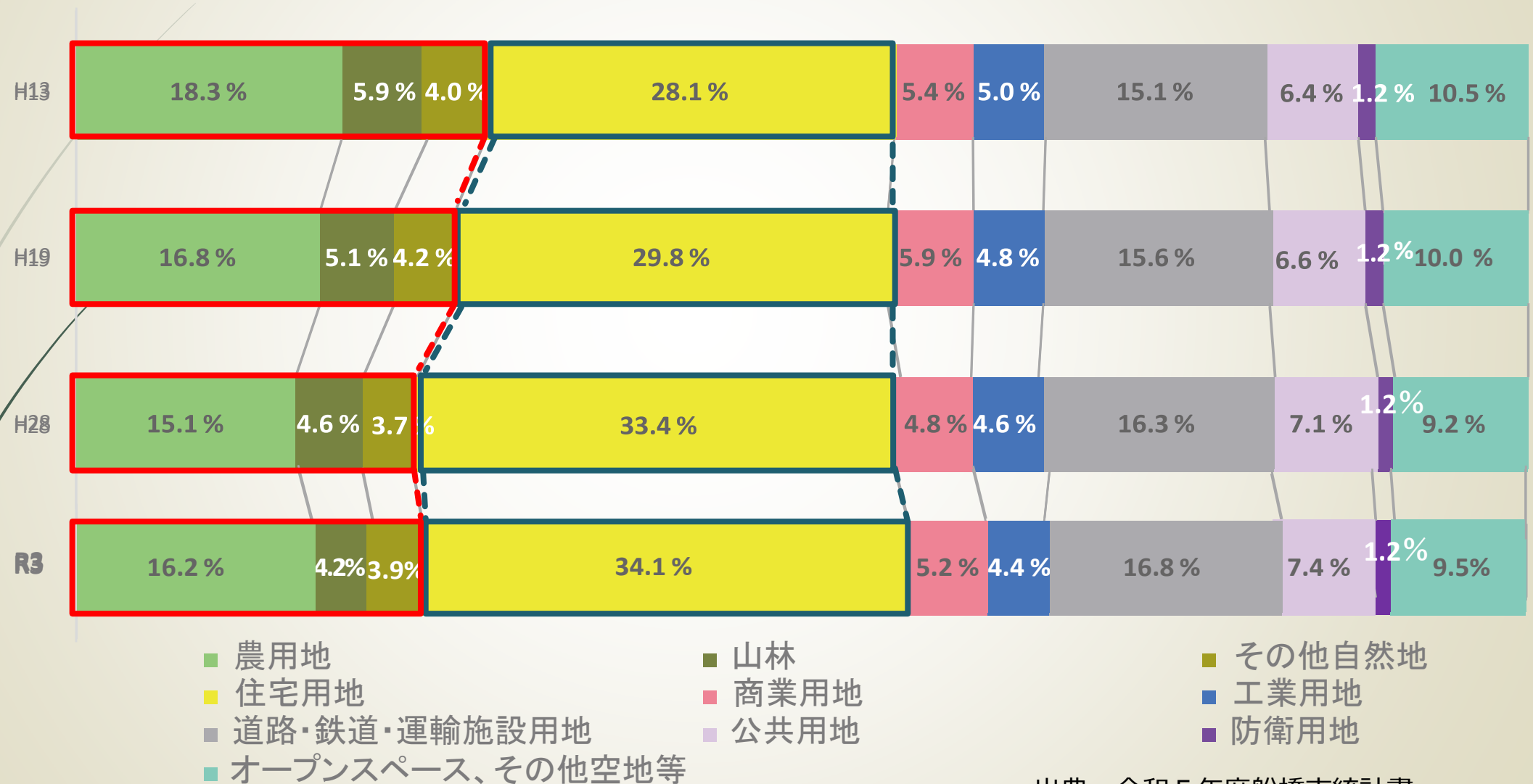


➡ 船橋市の現況

(1) 将来の人口推計



(2) 土地利用の変化



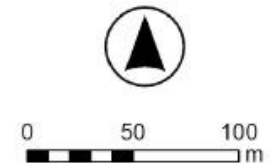
出典：令和5年度船橋市統計書

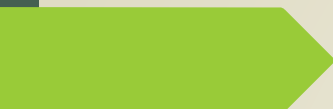
(3) 緑地の変化

前回 (H25)



今回 (R06)





これまでの検討



1. 現行計画の振り返り

アンケート調査結果

①緑の満足度

「ある」
増加

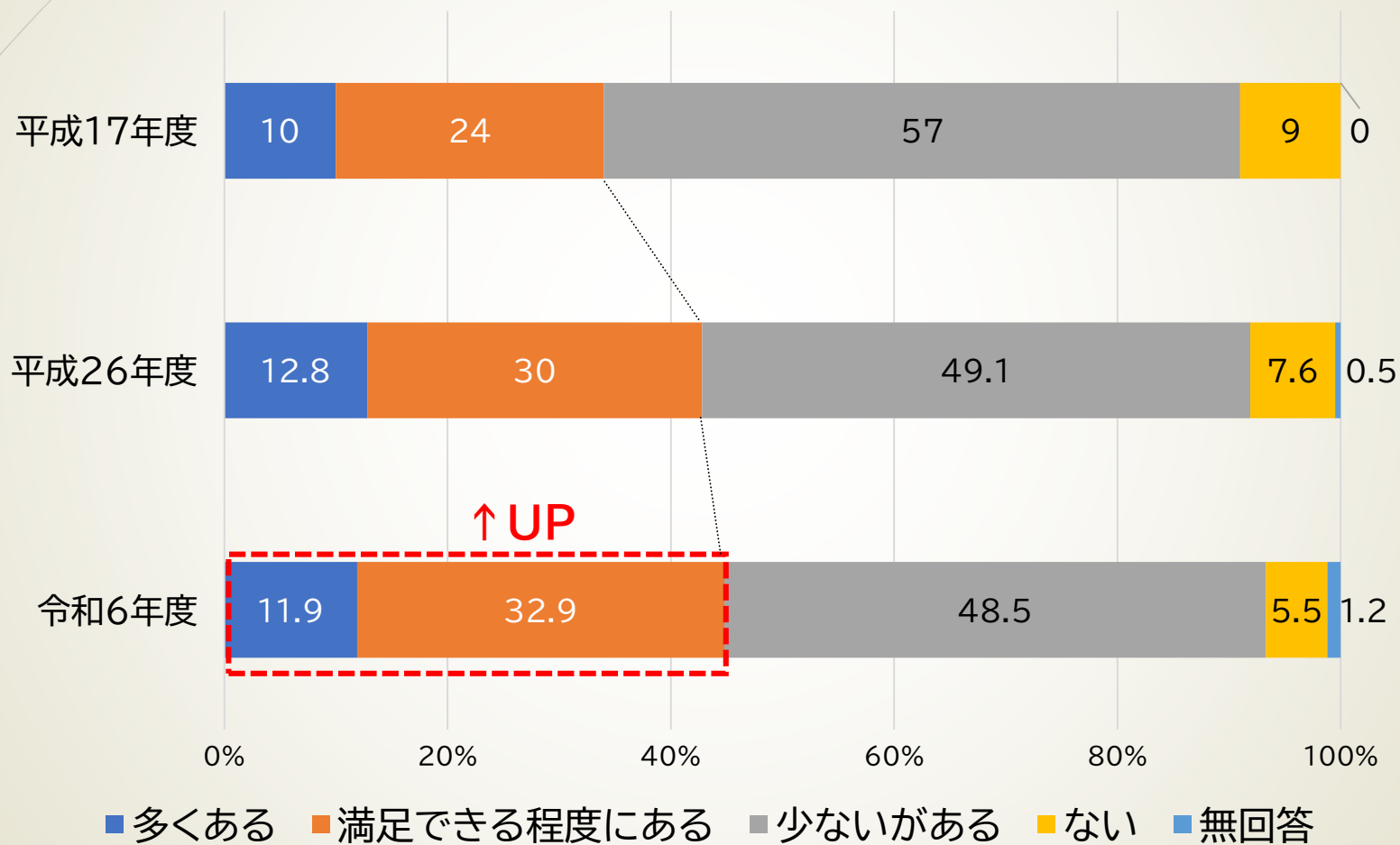


図 緑の有無

アンケート調査結果

②公園の利用方法

コロナで
散歩
が注目!?

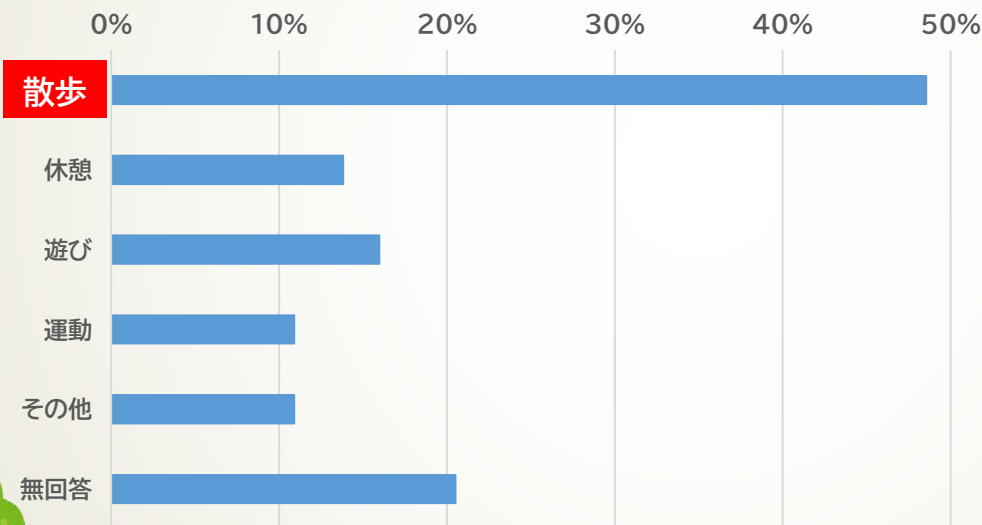


図 利用目的

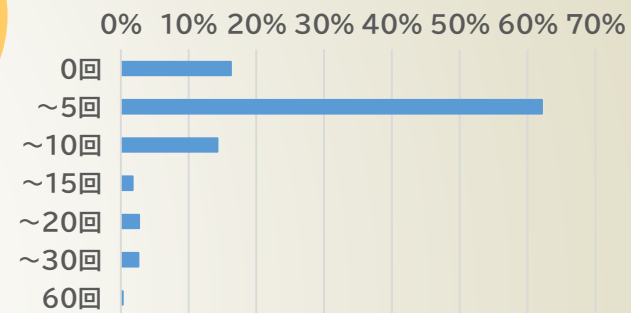


図 利用頻度

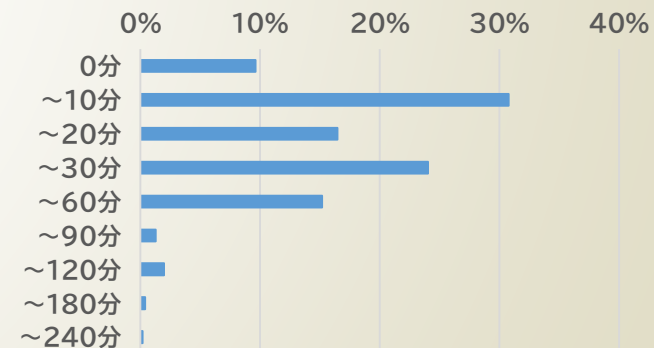


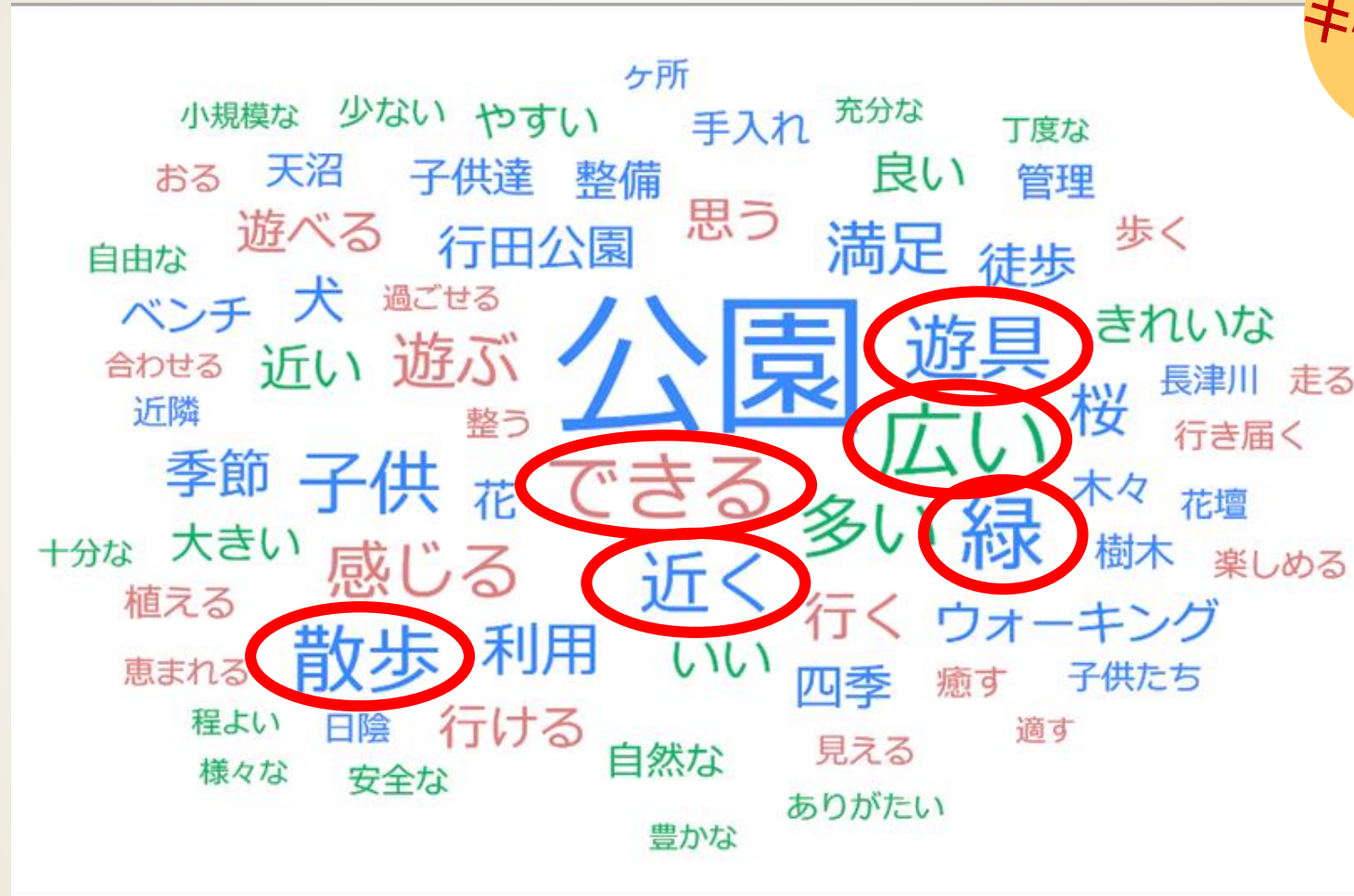
図 滞在時間



アンケート調査結果

③ 市民の公園へのニーズ

満足度
キーワード



※ 自由意見で頻出した単語が大きく表示されています
※ 青は名詞、赤は動詞、緑は形容詞・形容動詞

図 満足のイメージ(自由意見)

ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

アンケート調査結果

④本市の緑に求められる役割

防災・環境
重要視

引き続き
関心が高い

新たに
関心が高まっている

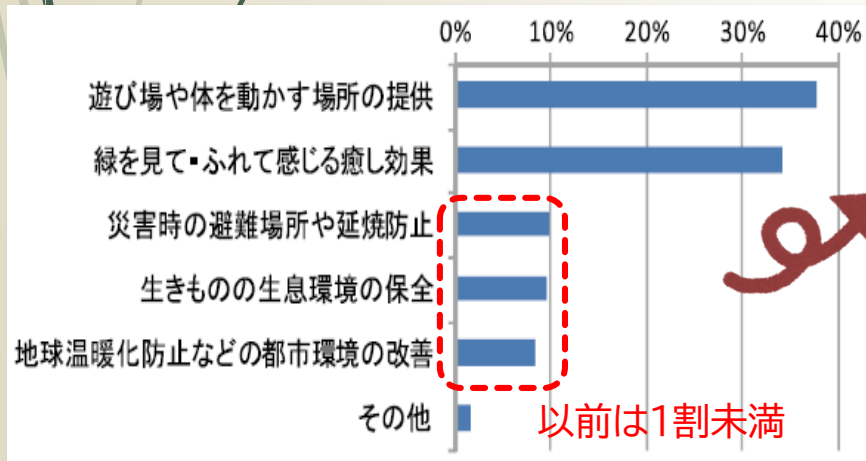
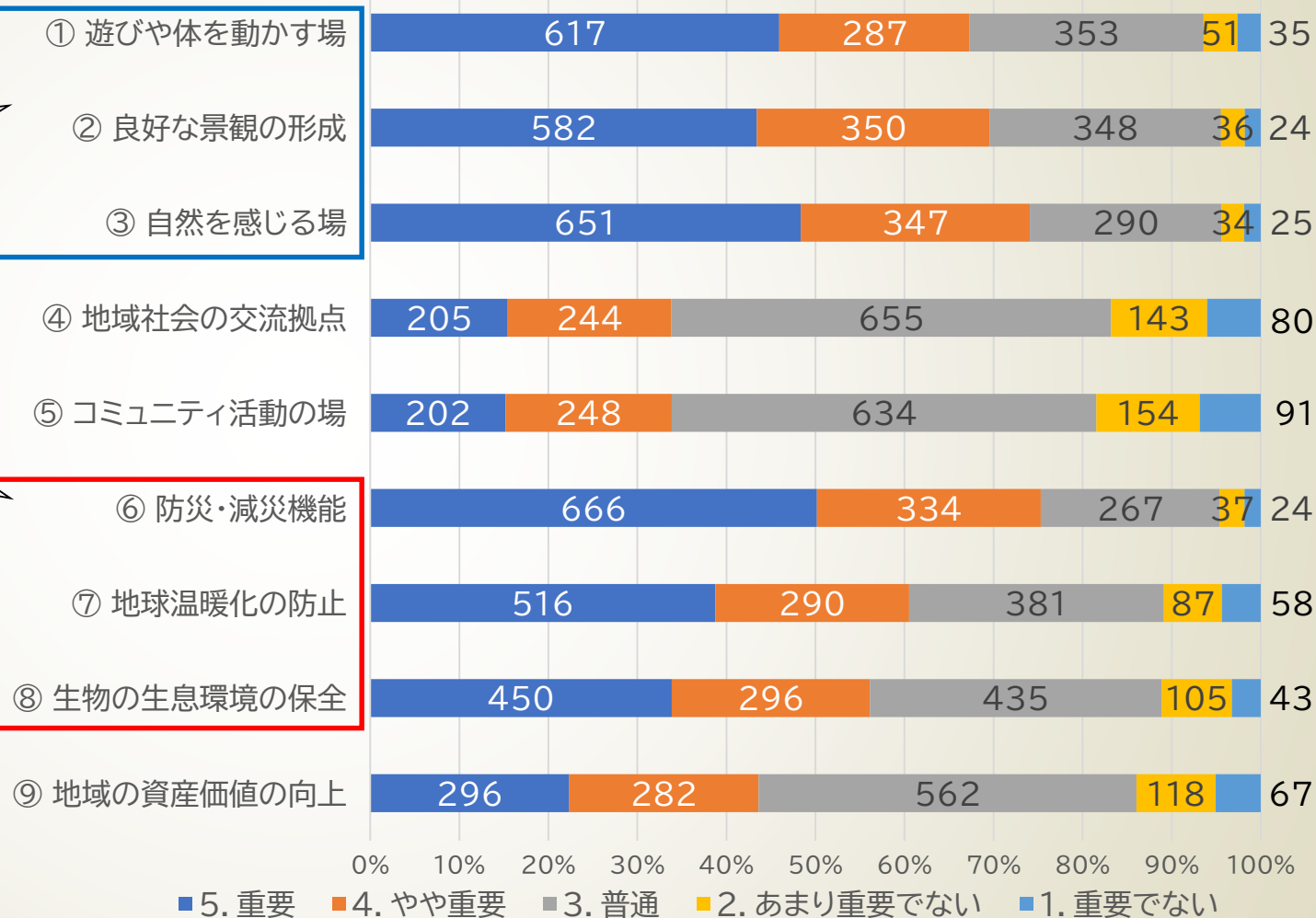


図 緑に求められる役割

アンケート調査結果

⑤ 緑への取り組みへの市民参加

知らない、
わからない
が多い

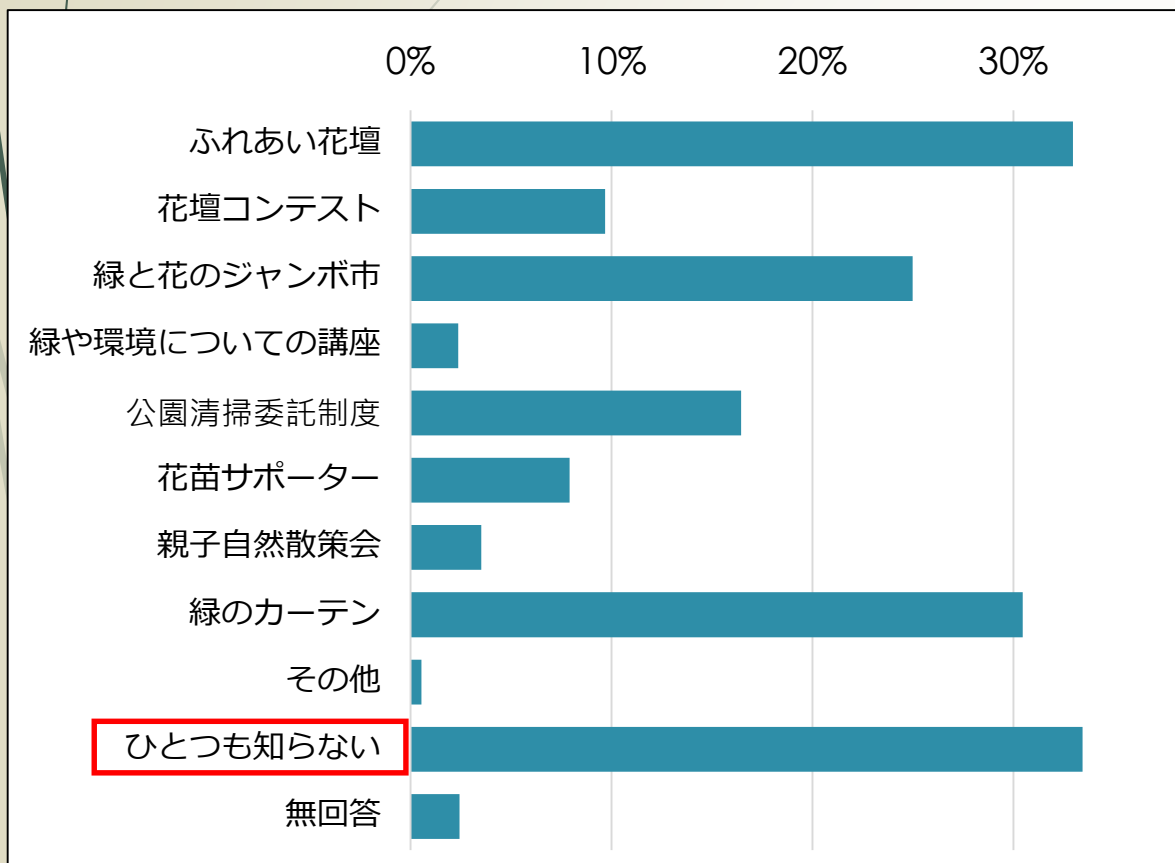


図 知っている緑の活動

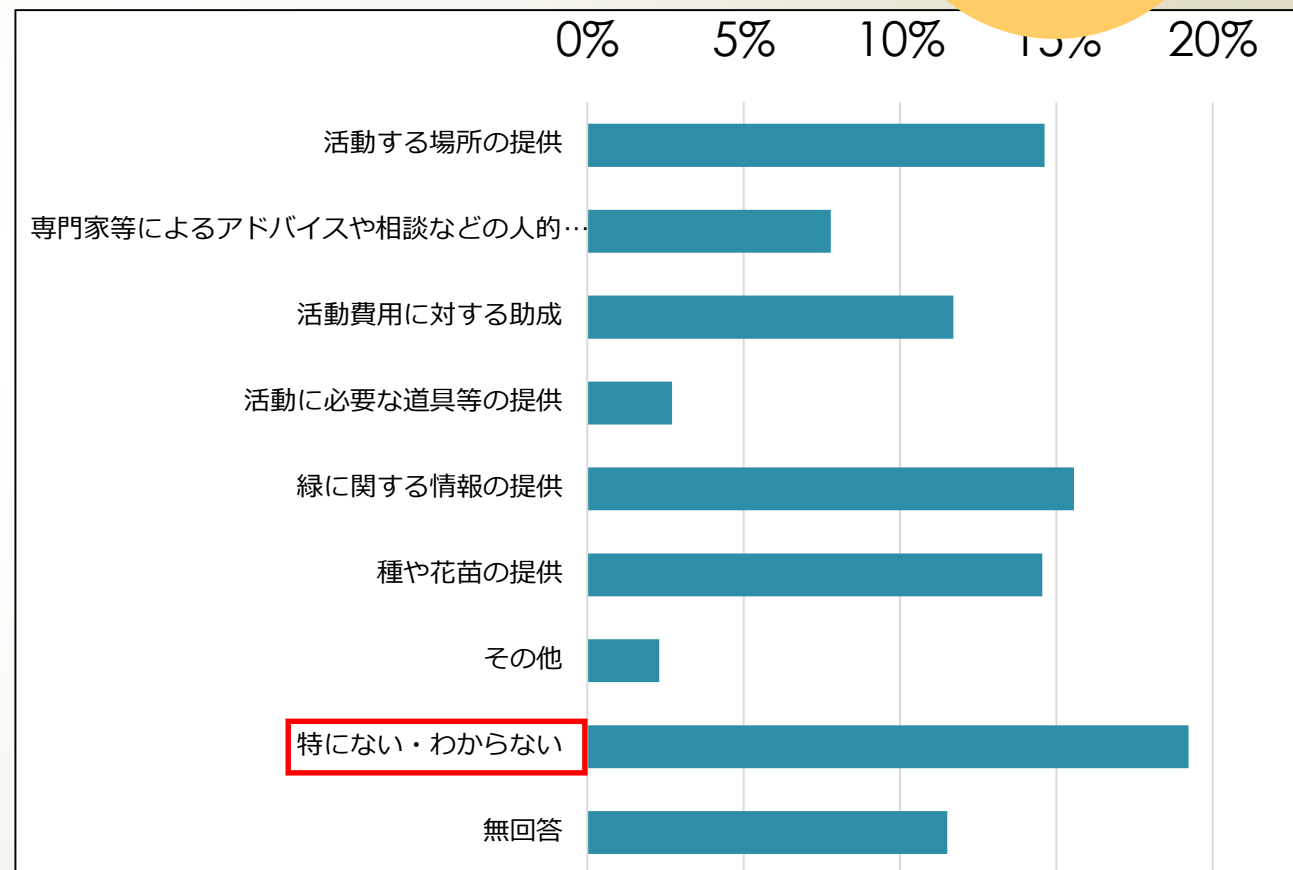


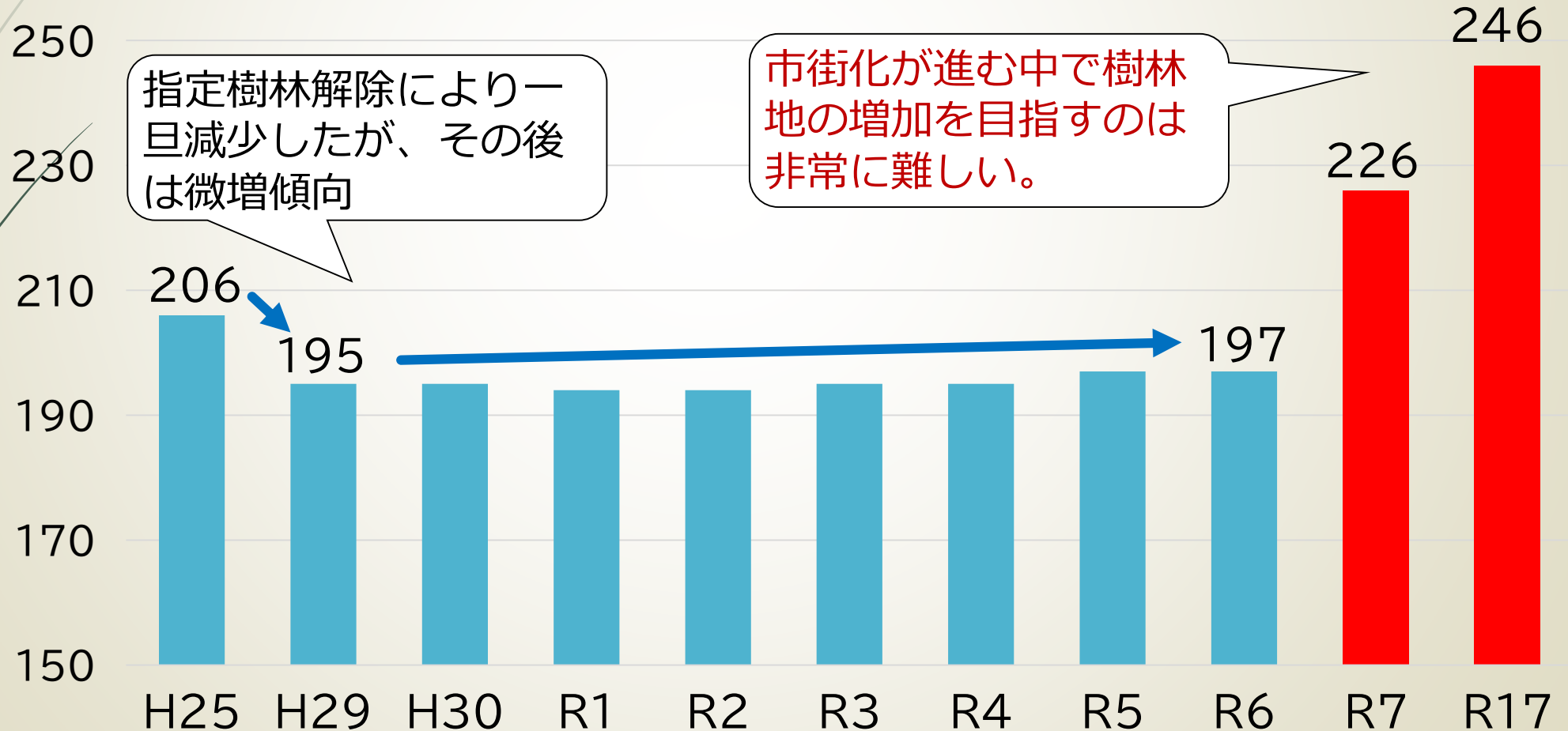
図 必要な市の支援

計画目標の進捗

① 樹林地の確保

(ha)

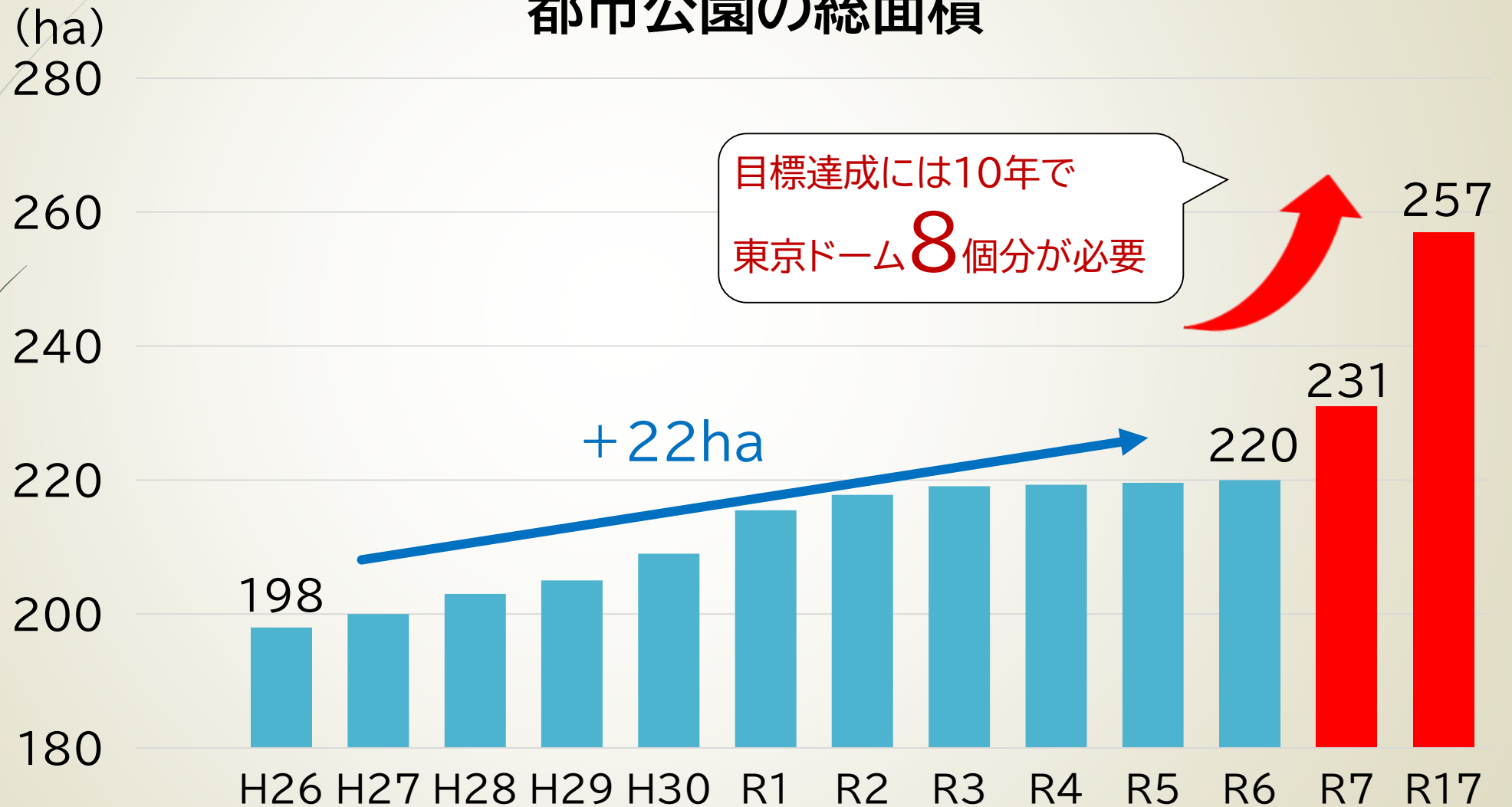
確保された樹林地の面積



計画目標の進捗

② 都市公園の整備

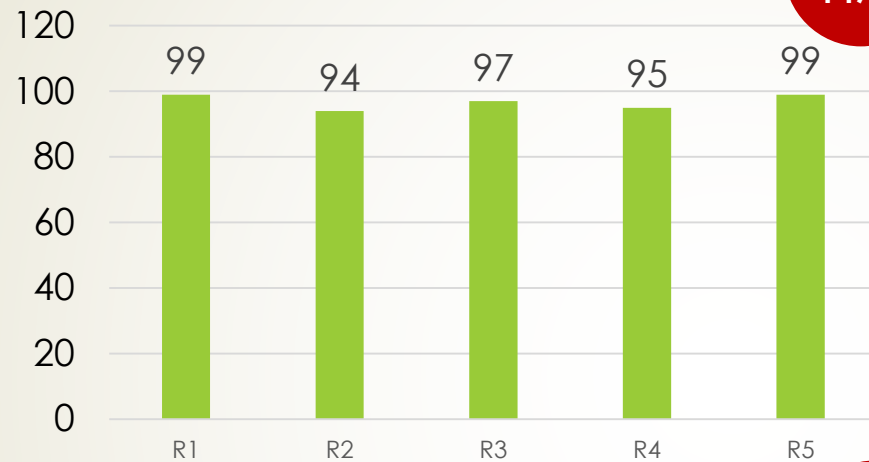
都市公園の総面積



計画目標の進捗

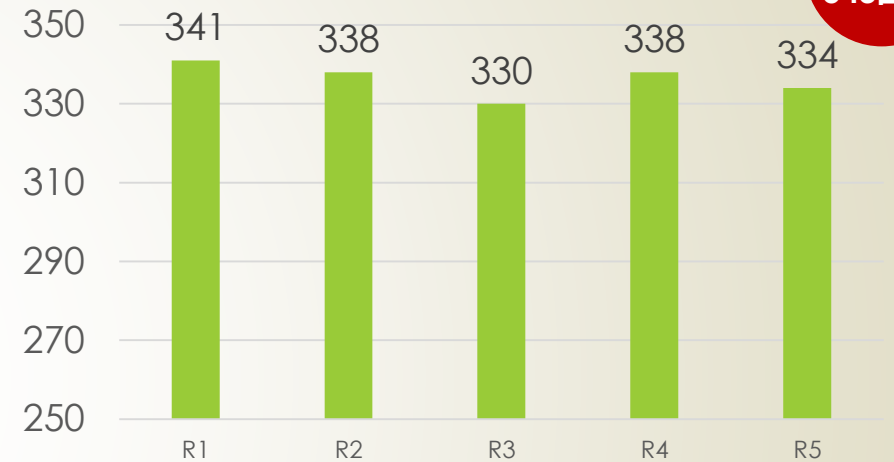
③ 市民協働の推進

ふれあい花壇実施個所数



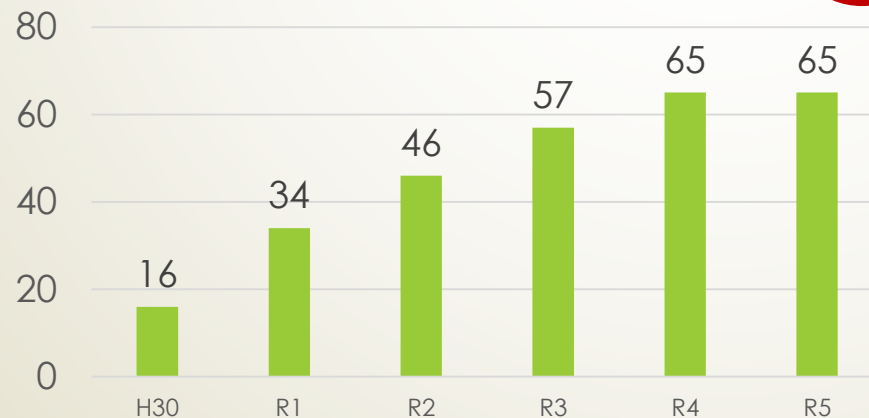
目標
147人

町会等清掃委託団体数



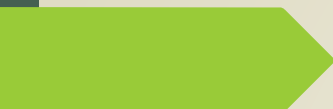
目標
543団体

花苗サポーター参加人数



目標
100人

※ 令和17年度の目標値になります。



これまでの検討



2. 計画改定における課題とその対応への視点 (緑化推進委員会での議論)

計画改定における課題とその対応への視点

◎地域のニーズに適合した公園の在り方

- ・ニーズに合わせた公園整備
- ・地域協働での公園利用のルール作り

◎自然の力を活かしたニーズへの対応

- ・防災・減災に資する公園・緑地
- ・グリーンインフラの活用による緑の機能の発揮

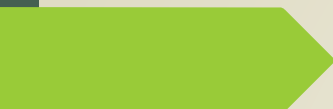
計画改定における課題とその対応への視点

◎みどりへの関心の向上

- ・「緑の基本計画」や取り組みの周知・啓発
- ・多様な施設の緑化

◎市民協働、官民連携による管理

- ・さらなる市民参加の推進
- ・事業者を含めたあらゆる関係者による緑化の推進
- ・公園以外のスペースも活用



国や市が目指す緑のまちづくり



国や市の動向



国や市が目指す緑のまちづくり

国の動向(緑の基本方針)

カーボンニュートラル

- ・CO₂吸収源の確保
- ・緑の量の確保

ネイチャーポジティブ

- ・生物多様性への配慮
- ・樹林更新による緑の質の向上

Well-being

- ・健康増進、コミュニティの醸成
- ・グリーンインフラとして多様な機能を発揮

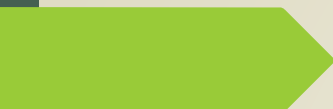
第3次船橋市総合計画

快適で豊かに暮らせる人と環境にやさしいまち

船橋市都市計画マスタープラン

水と緑のまちづくりに向けた取り組み

- ・地域の特性を生かした公園づくり
- ・グリーンインフラの活用



今回の議題

- ➡ (1) 緑の将来像について
- ➡ (2) 緑の将来像図について
- ➡ (3) 基本方針及び計画目標について

緑の将来像

歩こう・ふれよう
「緑・水・ふるさと、ふなばし」

緑の将来像

本市には、海から源流域までたどれる海老川が市の中心部を流れているほか、昔の海岸線の名残を伝えるクロマツの林やタブノキ、市街地に自然的な緑の景観を提供する斜面緑地など、魅力的な緑が数多くあります。

これらの緑は、私たちの生活に安らぎを与えるだけでなく、防災・減災、都市環境の改善、生物多様性の保全などのさまざまな機能を有しています。

南部地域では源流域から海岸線まで緑と水に親しみながら散策でき、北部地域では豊かな自然と穏やかな田園風景のなかを散策できるようなネットワークを形成することや、旧海岸線に残る美しいクロマツの林やタブノキを後世に残すことは、人と自然の共生をうながし、本市の魅力を維持することにつながります。

また、まちなかのいたるところで緑が目に入り、身近なところに快適な公園がある、そして緑の多面的な機能をいかした環境に配慮した快適なまちづくりは本市の魅力を一層高めることにつながります。

このような、子どもからお年寄りまでが緑と水にふれあいながら歩ける都市を目指し、市民すべてが船橋をふるさとして健康に末永く暮らせる緑豊かなまちづくりを市民のみなさまとともに実現していきます。

緑の将来像図

凡例



水と緑の拠点



水と緑の拠点(構想)



骨格となる緑を保全するエリア



緑の機能の発揮に向けて適正な管理を推進するエリア



緑を創出・管理し、周辺とのネットワーク形成を促すエリア



社寺林



街路樹



河川・水路



自然環境軸



主要道路



鉄道



計画の基本方針

1. 人と緑と生きものが**共生**しふれあえる、水と緑のネットワークをつくります

環境軸を中心とした魅力的な緑の保全

生物多様性への配慮

水や緑に触れ合えるような施設整備



水と緑のネットワーク化



坪井近隣公園

計画の基本方針

2. 多様な緑をいかし、船橋らしい風格ある緑の都市をつくります

地域の特徴に合わせた緑の保全・活用

多様な施設の緑化（街路樹、民有地）

公園利用のルール作り



船橋らしい緑の実現



北習志野駅前のけやき並木

計画の基本方針

3. 環境にやさしく安全で快適な暮らしに役立つ、質の高い緑を増やします

グリーンインフラの活用

防災・減災、都市環境の改善

ニーズに合わせた公園づくり



緑の機能の活用による満足度の向上



かまどベンチと防災用パーゴラ

計画の基本方針

4. 市民・事業者との連携により、緑を守り育んでいきます

市民協働での公園づくり

官民連携も含めた新たな緑の創出

緑化活動の普及・啓発



市全体で緑の都市を実現



認定市民緑地

計画目標

◎緑の確保 (変更)

・緑被率(樹林地、草地、農地等の緑に覆われている部分の割合)

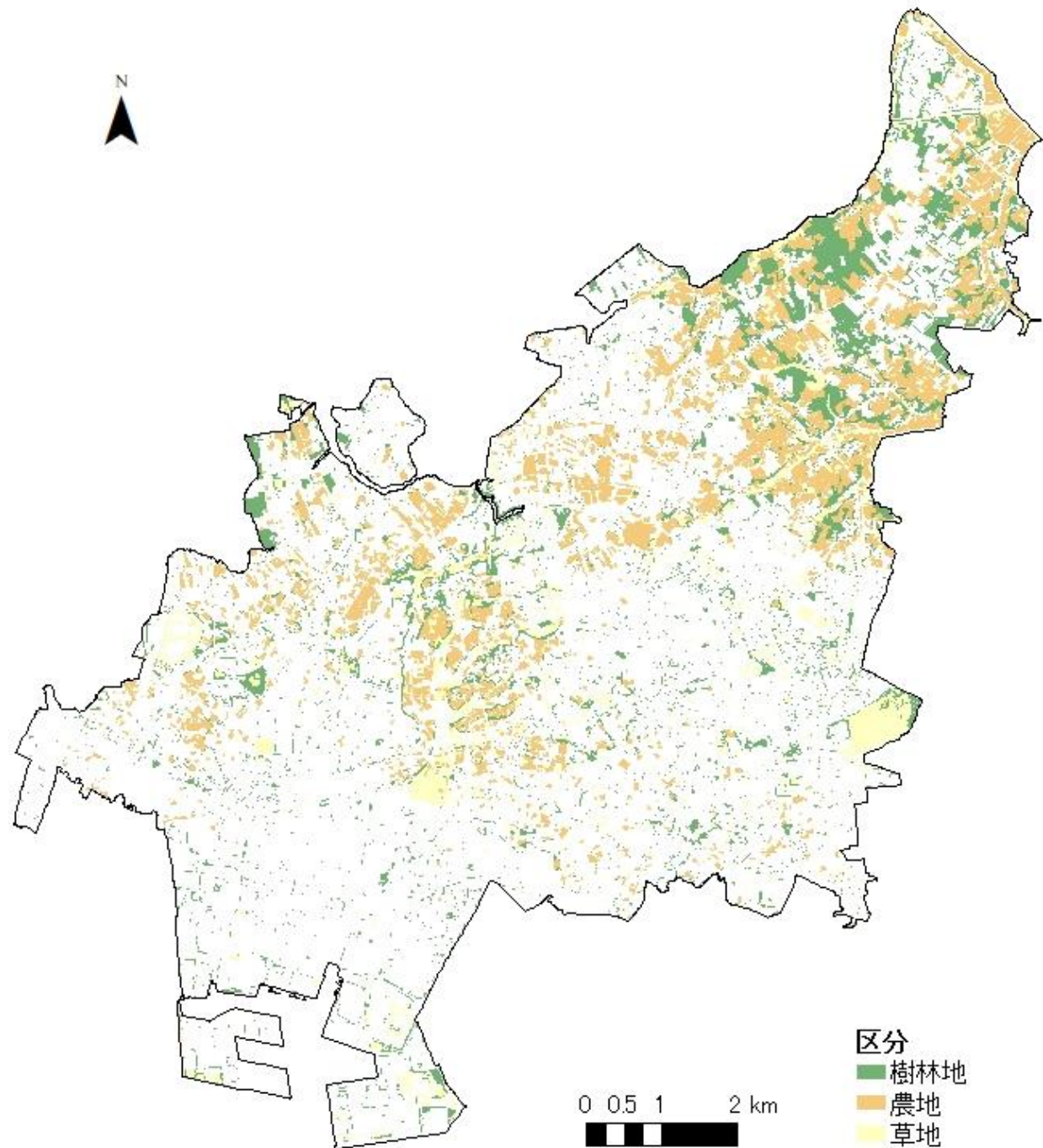
現況:26.4% 目標:適切な保全と緑化の推進により上昇を目指す

- 対象を樹林地から農地・草地等も含めた市内全域の緑に変更
- 緑地の減少を食い止め、上昇を目指す

計画目標

緑被率

現況:26.4%



計画目標

◎都市公園の整備（目標値修正）

・都市公園の面積

現況 220ha

R17中間年度 234ha

R27目標年度 267ha

- 進捗に遅れはあるものの、都市公園面積は増加
- 整備計画等から積み上げた具体的な数値を目標にする

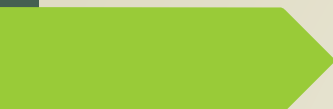
計画目標

◎緑に対する満足度の向上（新設）

・市民意識調査での自宅近くの緑に対する評価（「多くある」と「満足できる程度にある」の合計）

現況 44.8% R17中間年度 50% R27目標年度 60%

- 市民の緑に対する意識の向上や満足度等に対する目標を新たに設定
- 質の高い緑の整備・管理と、市民協働、官民連携により満足度の上昇を目指す



今回の議題

- ➡ (1) 緑の将来像について
- ➡ (2) 緑の将来像図について
- ➡ (3) 基本方針及び計画目標について